

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや ちくさ WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 〒461 千種区池下一丁目4番18号
 井上ビル4F D号
 Tel 763-5110
 会長 水野民也

No.41 (1982~1983)

MANKIND IS ONE-
 Build Bridges of Friendship
 Throughout the World

人類はひとつ
 世界中に友情の橋をかけよう
 1982~83年度RI会長 向笠広次

第41回例会 昭和58年6月7日(火)晴

◇ “君が代” “奉仕の理想”

◇出席報告

会員 47名 出席 30名
 出席率 63.83%

◇前回 5月31日(修正出席率)100%

make up

青山君(6/1和合), 浜口君(6/4守山), 橋本君
 (6/1和合), 加藤(敏)君(6/1和合), 河合君(6
 /3港), 菊池君(5/30東), 黒野君(6/2瑞穂),
 宮尾君(5/25南), 成田君(5/28守山), 笹野君
 (6/4守山), 菅原君(5/30中), 都築君(6/1和
 合), 山村君(6/4和合)

◇ビジター紹介 6名

◇誕生日祝福

寺澤君(6/8)

◇ニコボックス

鶴飼君(本日卓話させていただきます), 堀場君
 (獣医学教育が6年制になりました), 菅原君
 (邦泳スイミングスクール東名が名東区極楽
 にオープンしました。よろしくお願ひしま
 す), 都築君(本日卓話させていただきます), 橋
 本君(ホームクラブ長らく御無沙汰しまし
 た), 寺澤君(誕生祝)

◇松居幹事報告

- 6月4日(土)に日本を出発されたトロン
 ト国際大会旅行の参加者の皆様が無事到着
 され、楽しく過ごされているという喜ばし
 い連絡が入っておりますので御報告しま
 す。

◇水野(民)会長挨拶

第41回の例会が今日開会となりますが、多
 分今までの中で最低の人数であろうと思ひ
 ます。

これは淋しいだけでなく非常に熱心な会員が
 トロントへ行かれたため、うれしい限りで
 す。

ロータリーの国際大会に行くという事は本

当によい事で外国人に同じラベルボタンをつ
 けた人がこんなに沢山居るのか、とロータリ
 アンとしての喜びを感じるでしょう。

特に今年は日本人の会長なので日本人とし
 ては行った甲斐があるのではないでしょう
 か。4日丁度空いて居りましたので、加藤大
 豊君、谷口君と共にグッドラックを云って
 見送りました。

全員きっとニコニコして帰朝のスピーチが
 あるものと信じております。

◇講演

“医薬品談義”

会員 都築 勝彦 君

我が国の医薬品業
 界は、今では化学工
 業の中でも4兆円産
 業として大きな地位
 を占めておりますが、
 その発展の基盤を築
 いたのは戦後のこと
 です。くすりくすりの



語源は奇くありからきており病人に奇跡
 を与えるもの、の意があると云われていま
 す。まさしく戦後画期的な新薬であったペ
 ニシリン、ストレプトマイシンは大きな奇跡
 を、我々にもたらしてくれました。このこ
 とについては、先般の水野会長の卓話にも述
 べられていたこととございます。こういった初
 期の抗生物質の製造が引き金となって、凡
 ゆる分野に於ける新薬が続々と開発される
 と共に、一方に於ては国民皆保険制度の確立を背
 景に医薬品の需要は急激に伸びて参りまし
 た。また我が国の平均寿命は、医療技術の発
 達や公衆衛生水準の向上等に支えられて、他
 に例がないほどの伸びを示し、昭和56年には
 男73.79歳、女79.13歳となったのですが、こ
 の高齢化社会の形成もまた医薬品需要増につ

ながっています。

今日我が国の研究開発力は、国際的にも高く評価され、ここ数年の間に人工血液を始めとして肝炎治療薬、かつて夢のくすりと言われたインターフェロン、B型肝炎ワクチン等、素晴らしい新薬が出てまいります。更に20世紀最後の技術革新といわれているバイオテクノロジーも、既に医薬品の分野で一部企業化されております。即ち遺伝子の組み替え、細胞融合、細胞培養等の研究により、インシュリン、インターフェロン、成長ホルモンなどの量産が、可能になりつつあるのです。遺伝子の組み替えで新しい生命を作り出すことには、一面に於て色々な問題点を抱えておりますが、それは別として、私も昨年9月に、ロータリアンという遺伝子を組みこまれたのであります。だからといって、ステータスが保証されたわけではありません。ロータリアンにふさわしいグレードアップは、たゆまぬ努力と研鑽以外にないと存じております。

“氷について”

会員 鶴飼 一男 君

我が国では氷は太古より神の神聖な遣わしものとして崇められ、諏訪湖の神渡りや正月元旦の氷の厚さで農作物の豊凶を占いました。

仁徳天皇の御世（西暦300年）に閩鶏の水室が発見され人々は冬の間天然氷を氷室に貯蔵し、夏の盛りにとり出して夏の氷として珍重されたと記されております。

西暦900年頃には諸国に氷を採る氷池が約540カ所散在し、氷を貯える氷室も数多く所在したとあります。氷室の構造については日本書紀に土を掘ること丈余草をもってその上に蓋いあつし茅藪を敷きて氷を取りて以ってその上に置く（仁徳天皇記）とあり、奈良、平安時代になりますと主氷司という職制が設けられ、6月1日に賜氷節として国家管理体制となりました。枕草子や源氏物語にも真夏に削氷に甘茶をかけて食したとか、酒に浸して用うとあります。江戸時代では、加賀藩主前田侯より毎年白山の天然氷が、徳川家に献上され、又、前田家では一部を一般の人々にも分ける習わしでした。川柳にも、心ざし水にせぬうちおすそわけとか、俳人池西言水の句で、六月の蜜柑見せけり氷室守と、食用や冷蔵に使い大変貴重品でありました。永く続いた国家管理的な氷も明治時代になりますとアメリカよりボストン氷



という名のもとに輸入されるようになり、積極的に一般に使用されだしその用途も広く定着し色々な分野で大きな効果をあげました。1834年にイギリス在住のアメリカ人が、冷凍機の特許第1号を受け人工的に氷を作り、日本では明治12年に横浜でアメリカ人が、同16年に東京の京橋に日本人が初めて製氷会社を設立し販売を始めました。

氷は溶けるときの、そのまわりから80カロリーの熱量を奪ってゆきます。これが飲み物や食べ物をおいしく冷し新鮮に保ち、日常生活に不可欠な氷は古代からの人間の受けつがれた知恵と申せましょう。

◇職場訪問（親睦活動・職業奉仕委員会）

No.7 加藤保三君 伊藤・加藤法律事務所

丸の内弁護士ビル404号の伊藤・加藤法律事務所はまさに書庫という感じである。数多くの法律書と判例が書棚狭しとおかれ、弁護士3名、事務職員1名が業務に当たっている。昭和32年名大法学部を卒業、33年14期で合格、35年に名大大学院法学研究科修士課程卒業、昭和39年には加藤法律事務所を開設、昭和49年には義父伊藤淳吉氏が札幌高裁長官を定年退官され、弁護士登録をされたのを機会に共同事務所とし、伊藤・加藤法律事務所と名称を変更今日にいたる。民事が専門だが、特に最近の離婚の多さには情操教育の不足、家庭生活における夫婦互いの我慢不足を上げ、一方、女性側よりの訴訟の多さは女性の権利意識の高まりを指摘する。弁護士の将来について名古屋、東京、大阪に比較し、対人口の割合いからはまだまだ必要とするところであり、伸びていくだろうとの判断である。素晴らしい人生であると謳歌し、夢は大きい。特徴のある広い額に汗し公認会計士、司法書士、弁理士、税理士、測量士等を包含する総合事務所の開設である。昭和27年、28年旭丘高校のラグビー部として連続国体出場、「徹底を期する」ファイターである。

（文責・菅原）

◇例会変更のお知らせ

6月22日（水）名古屋和合RC 夜間例会の為、かすが荘にて午後6時

6月23日（木）名古屋西RC FSMの為、ホテルキャッスルプラザにて午後4時より

◇次回例会（6月14日）

卓話“呉服の変遷”

（株）ほていや 取締役社長 猪飼 誉之氏
（紹介者 山村誠二君）

◇次々回例会（6月21日）

松楓閣にてクラブアセンブリーの為、卓話はありません。